2019年中間期決算説明会　主な質疑応答

2019年11月26日（火）に開催した2019年中間期決算説明会における主なご質問および当社の回答は以下の通りです。

Q．中期経営計画に「グループ総合力の発揮」を掲げているが、北陸銀行・北海道銀行以外のグループ会社についての利益水準、およびどの会社に対する期待感が高いかについて教えて欲しい。

A．連結中間純利益に含まれる両行以外のグループ会社の中間純利益は約8.6億円。期待感については、対顧客向けのビジネスを担い連結収益への貢献という点において、ほくほくＴＴ証券、北銀リース、北陸カード・道銀カード、そしてＩＴコンサルを手掛ける北銀ソフトウエアである。

Q．地銀持株会社グループにおいて、持株会社傘下へのＩＴ子会社設立、機能集約などの動きがあるが、新たな持株会社傘下子会社の設立、それ以外の持株会社活用などは検討しているか。

A．今現在、新たな子会社設立等は検討していない。ＩＴ子会社については既に北銀ソフトウエアがある。

Q．与信費用が増えているが、今後の見通しなどについて教えて欲しい。

A．水産関連は不漁が長期化することで体力的に厳しくなってくる先が出てくるのではないか等、与信管理状況は常に注視しているが、すぐに具現化するとは考えていない。

Q．自己資本比率について、中期経営計画では「８％維持」を目標としているが、貸出金を伸ばすという目標もある中で、同時にリスクアセットをコントロールしていくのは、成長の足かせになるのではないか。

A．中期経営計画は貸出金の増強によるリスクアセット拡大を考慮したうえで策定している。貸出金の増強を考慮してもボトムで8.3%程度にとどまると考えており、制約になるとは考えていない。

Q．法人ソリューション収益の進捗状況を踏まえ、２行の課題や危機感について教えてほしい。

A．現在の進捗状況は、商材蓄積状況なども踏まえ巡航速度と考えている。体制整備も順調であり、今後外部出向している行員が戻り、さらに人員が増強される段階で、計画は達成できると考えている。

Q．同一営業地域内で、他行や他業種との連携によるトップラインの拡大や経費の削減を検討しているか。

A．現在も、様々な形態で他行・他業種と連携しバック部門の合理化などを実現している。

Q．北陸銀行にて人材紹介業務を開始したが、北陸銀行の行員を地元企業に派遣するといったスキームは考えているか。

A．取引先企業から北陸銀行への人材派遣ニーズは多く、これまでも、北海道銀行と協力するなどして可能な限り対応しているが、全てにお応えできていない状況。人材紹介業務は、そういった状況も踏まえ、都市部人材や地元お取引先の退職者などを、経営幹部や専門技術人材としてご紹介するスキームとして開始したものである。

以　上